

家読100選

うちどく



山梨県教育委員会 しなやかな心の育成プロジェクト

中学生・高校生向け



家読の思い出

私は、小さい頃から父母に本をたくさん読んでもらいました。絵本はもちろん、中学生や高校生になっても、母がおすすめの本を読んでくれました。字が読めるようになったら、自分で読むようになりました。字が読めるようになったら、自分で読むようになった。字が読めるようになったら、自分で読むようになった。字が読めるようになったら、自分で読むようになった。

(中澤 穂佳さん)



「うちどく」のやり方に特に決まりはありません。基本は、「読んだ本について家族で話す」ということだけです。それぞれの家庭の事情にあわせて、習慣的に本をめぐる会話を楽しむ。同じ本を読めば会話がいつそう盛り上がります。決まりはありませんが、「うちどく」のすすめ方として参考にしてください。

1. 家族で話し合っ「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家の家読スタイルを話し合っ決めよう。
3. 家族で話し合っ読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5. 年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。
6. 我が家の家読の記録を残そう。
7. 家族の読書体験を語ろう。
8. 家庭文庫を作ろう。
9. 図書館に行こうデーをつくろう。
10. 家読の輪を広げよう。

うちどく.com より

想い ～家族へ・友だちへ～



ポニーテール
重松清／著
新潮社 2011年

フミのパパが再婚して、新しいお母さんとおねえちゃんがかわり4人の生活が始まる。お互いを気遣い、ぶつかり合いながらゆっくりとひとつの家族になっていく物語。



「あの日」のこと
高橋邦典／写真・文
ポプラ社 2011年

東日本大震災の生の声を伝える写真絵本。
あの日どんなことが起き、そして今何を思うか。写真の中の人の言葉に家族で耳を傾けてみては？

| 作品 | 作／訳／絵 | 発行年 | 出版社 |
|--------------------|-------------------------|------|---------|
| モモ | ミヤイル・インデ／作 大島かおり／訳 | 2005 | 岩波書店 |
| ゲド戦記1 影との戦い | ア・シラ・K・ル＝グウィン／作 清水真砂子／訳 | 2009 | 岩波書店 |
| 星の王子さま | サン＝テグジュペリ／著 内藤濯／訳 | 2000 | 岩波書店 |
| トロッコ・鼻 | 芥川龍之介／著 清水耕蔵／訳 | 2009 | 講談社 |
| 「また、必ず会おう」と誰もが言った。 | 喜多川泰／著 | 2010 | サンマーク出版 |
| 愛、深き淵より。 | 星野富弘／著 | 2000 | 学研 |
| 西の魔女が死んだ | 梨本香歩／著 | 2001 | 新潮文庫 |
| ひとつのいのち、ささえることば | 新垣勉／著 | 2004 | マガジンハウス |
| 麒麟の翼 | 東野圭吾／著 | 2011 | 講談社 |
| ツナグ | 辻村深月／著 | 2012 | 新潮文庫 |
| フライ、ダディ、フライ | 金城一紀／著 | 2009 | 角川書店 |
| 有頂天家族 | 森見登美彦／著 | 2010 | 幻冬舎 |
| 夜のピクニック | 恩田陸／著 | 2006 | 新潮文庫 |

スポーツ・冒険



サッカーボーイズ 明日への絆
清水久美子／著
カンゼン 2009年

小学生の頃からサッカーが大好きな佐々木諒平君。高校の選手権出場を目指してがんばる彼を悲劇が襲う。家族の絆、温かい仲間の言葉が深く胸を打つ。家族って、友だちっていいものだ。



風が強く吹いている
三浦しをん／著
新潮社 2009年

同じアパートの住人を巻きこんで箱根駅伝を目指すことにした清瀬。クイズ大好きな“キング”、ヘビースモーカーの“ニコチャン先輩”など個性豊かな下宿人たちと一緒に走る、スポーツ小説。

自然・科学



空想科学読本 (1～13)
柳田理科雄／著
メディアファクトリー

2006年～2013年
どこの図書館でも人気のシリーズ。非現実的なアニメの世界を真面目に、科学的に検証する。著者は中学生の親世代なので懐かしいアニメも随所に登場。親子で楽しめる。

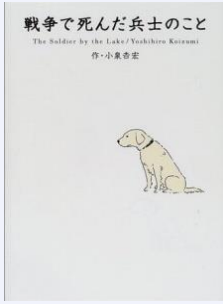


空の名前
高橋健司／写真・文
角川書店 2005年

明け方や雷など空の一瞬の表情をとらえた写真集。写真にはそれぞれ説明が付いています。東雲、夕映、問答雲…家族と空を見上げた時、空の名前を教えてあげよう。

| 作品 | 作／訳／絵 | 発行年 | 出版社 |
|-------------------------|---------------------|------|-------|
| スーパーイラストでしくみを知る ハイテクの世界 | 水谷仁／著 | 2012 | コトブキ社 |
| センス・オブ・ワンダー | レイナル・L・カーツ／著 上遠恵子／訳 | 1996 | 新潮社 |

平和・環境



戦争で死んだ兵士のこと
小泉吉宏／著
メディアファクトリー 2001年
ひとつの命の切ない絵本。後ろから読むと趣きが変わって違った味わいになる。子どもの誕生秘話や平和について語り合うきっかけになる一冊。



山本美香という生き方
山本美香／著 日本テレビ／編
日本テレビ放送網 2012年
28歳で運命の出会いをし、戦地取材するジャーナリストとしての一歩を踏み出した山本さん。彼女の生き方は、人生における選択と使命について私達に教えてくれます。

| 作品 | 作／訳／絵 | 発行年 | 出版社 |
|---------------------|---------------------|------|--------|
| ヒトラー・ユーゲントの若者たち | S.C.バートレット／著 林田康一／訳 | 2010 | あすなる書房 |
| 心のおくりびと 東日本大震災復元納棺師 | 今西乃子／著 浜田一男／写真 | 2011 | 金の星社 |

世の中・人とのかかわり



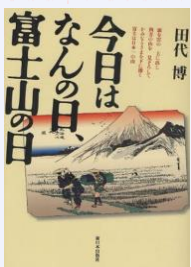
こころの処方箋
河合隼雄／著
新潮社 1992年
全55章からなるこころの備え方。君の悩みを解決してくれるわけではないけど、どう考えればよいかを教えてくれる。心に留めておくと、ピンチのときにきっと救われる。



きりぎりす
太宰治／著
新潮文庫 2008年
太宰治の作品は「人間失格」「走れメロス」だけではありません。画家の妻が出世した夫に語りかける「きりぎりす」、甲府が舞台の「畜犬談」など、やわらかな語り口で人の哀しみを描きます。

| 作品 | 作／訳／絵 | 発行年 | 出版社 |
|--------------------|-----------------------|------|-----------------|
| ちよい大人力検定 | 石原壮一郎／著 | 2008 | 河出書房新社 |
| あたりまえだけど、とても大切なこと | ロン・クラーク／著 亀井よし子／訳 | 2004 | 草思社 |
| 心が元気になる英語のことば | | 2002 | ジオス出版 |
| いのちの食べかた | 森達也／著 | 2004 | 理論社 |
| 種をまく人 | ポール・フライシュマン／著 片岡しのぶ／訳 | 1998 | あすなる書房 |
| 学歴入門 | 橘木俊詔／著 | 2013 | 河出書房新社 |
| ルポ貧困入門アメリカ | 堤未果／著 | 2008 | 岩波書店 |
| 一九八四年 | ジョージ・オーウェル／著 高橋和久／訳 | 2009 | 早川書房 |
| 15歳の君に見てほしい22世紀の未来 | 中原恒雄＋未来予測研究会／著 | 2007 | 徳間書店 |
| ピュリツァー賞受賞写真全記録 | ハル・ビュエル／著 河野純治／訳 | 2011 | 日経フィヨルジカグラフィック社 |

ふるさと



今日はなんの日、富士山の日
田代博／著
新日本出版社 2009年
山梨からは毎日見える富士山が世界文化遺産に登録されました。日本一高いこの山を見ることが出来る限界の地はどこなのか、全国に「富士見」という地名はいくつあるのかなど楽しい情報満載。



キャン・ユー・スピーク甲州弁?
五緒川津平太／著
樹上の家出版 2009年
「もちにいく」「かじる」などの方言と知らずに使っている言葉から「みぐさい」「おやす」などの甲州弁絶滅危惧種まで楽しく学べる本。家族に甲州弁を話せる人がいたら発音してもらおう!

| 作品 | 作／訳／絵 | 発行年 | 出版社 |
|---------------|-------|------|-----|
| 日韓交流のさきがけー浅川巧 | 梶村彩／著 | 2004 | 揺籃社 |

家族と楽しもう♪



読めそうで読めない 間違いやすい漢字

出口宗和／著
二見書房 2008年

本を開く前、表紙に最初の問題が登場。知的好奇心とプライドをくすぐるクイズ形式なので、家族で対戦を楽しんで。結果によっては今後のチカラ関係が変わるかも。



ねらわれた星 星新一／作

理論社 2001年

「うちの家族はあまり本を読まないかも」という人に。宇宙人が地球人をやつつけようとする「ねらわれた星」など短くて面白い話がたくさん入った本。きっと「読書も悪くない」と思うのでは。

| 作品 | 作／訳／絵 | 発行年 | 出版社 |
|------------------|-----------------|-----------|--------|
| 自分さがしの日本の名景ベスト50 | 渋川育由／編 | 2007 | 河出書房新社 |
| 365日で味わう美しい日本の季語 | 金子兜太／監修 | 2010 | 誠文堂新光社 |
| 0・ヘンリ短編集 (一)～(三) | 0・ヘンリ／著 大久保康雄／訳 | 1988～1989 | 新潮文庫 |
| マクベス | ジェイクピア／著 福田恒存／訳 | 2010 | 新潮文庫 |
| カラマーゾフの兄弟 (上中下) | ドストエフスキ／著 原卓也／訳 | 2004 | 新潮文庫 |
| 浅田家 | 浅田政志／著 | 2008 | 赤々舎 |
| 吾輩は猫である (上下) | 夏目漱石／著 | 2005 | ポプラ社 |
| カラフルな闇 | まはら三桃／著 | 2006 | 講談社 |

県内の中学生や高校生、一般の方々からのオススメ本です

今、何かに追われている人、心に余裕のない人にオススメ

「神様のカルテ」
(夏川草介／著 小学館)

心の温かみを感じられます。自分はこうでいいんだ、自分のペースでいいんだと思える優しい作品です。ぜひ読んでください。

若い人たちみんなにオススメ

「お母さんは命がけであなたを産みました」
(内田美智子／著 青春出版社)

「命」をめぐるあれこれを考えるとき、行き着く結論は「生まれたことが『奇蹟』」だと。そんな大切な命をあなたにも大事にして欲しいので。

気分がモヤモヤしていて、スカッとしたい気分になりたい人にオススメ

「レヴォリューションNO.3」
(金城一紀／著 角川文庫)

読み切った後に、なぜか走り出したくなったり、外出したくなったり、アクティブな気分させてくれる作品です。

友達のこと悩んでいる人にオススメ

「きみの友だち」
(重松清／著 新潮文庫)

「友達がいない」主人公恵美は、あることをきっかけにクラスメイトの由香と仲良くなっていきます。「友達ってなに？」「友達って必要？」と悩んでいる人にオススメです。

中学生のみんなにオススメ

「オーダーメイド殺人クラブ」
(辻村深月／著 集英社)

主人公が中学生で舞台も学校です。「命」とは何なのか、考えさせられた本でした。

☆うちどくクイズにチャレンジしてみよう!

<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/shinakoko/uchchidokupanfureto.html>

◆平成26年7月

◆編集 「家読100選」選定委員会

◆発行 山梨県教育委員会 社会教育課

〒400-8504 甲府市丸の内1丁目6番1号

TEL 055-223-1773 FAX 055-223-1775

<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/index.html>

